

Lake Controller を使用して Lake 搭載機種の本体ファームウェアを更新する方法

はじめに

ファームウェアを更新するには、以下の準備が必要です：

- お使いの Lake Controller ソフトウェアが最新バージョンであること、または使用したいバージョンがインストールされていること
- フレームがネットワーク経由でコンピューターに接続されていること

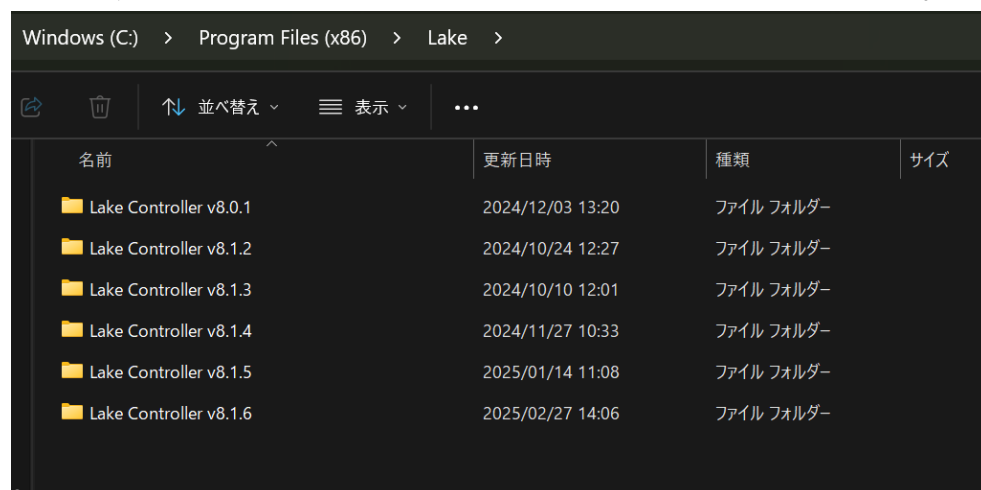
最新の Lake Controller は以下のリンクからダウンロードできます：

<https://beetech-inc.com/download-products/?cat=series&tid1=6192&tid2=6255&tid3=&slug=lake-controller>

更新手順

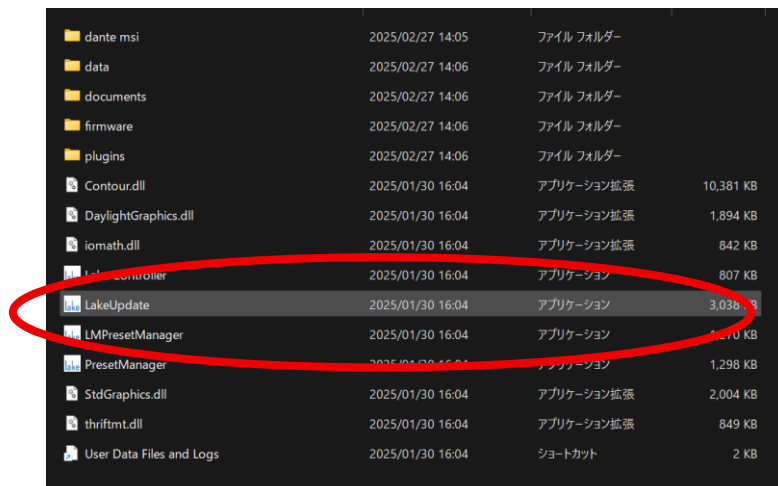
1. Lake Controller フォルダを開く

「C:¥Program Files (x86)¥Lake」フォルダ内または Windows ボタン→アプリに移動し、使用する Lake Controller のバージョンフォルダを開きます。



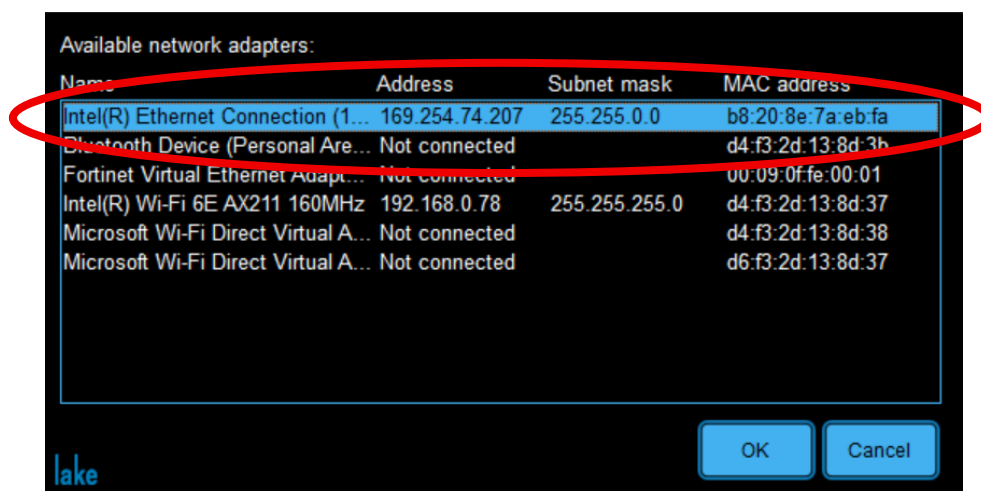
2. Lake Update Application を起動する

フォルダ内の「Lake Update」アプリケーションをダブルクリックして起動します。



3. フレームとネットワークアダプターを選択する

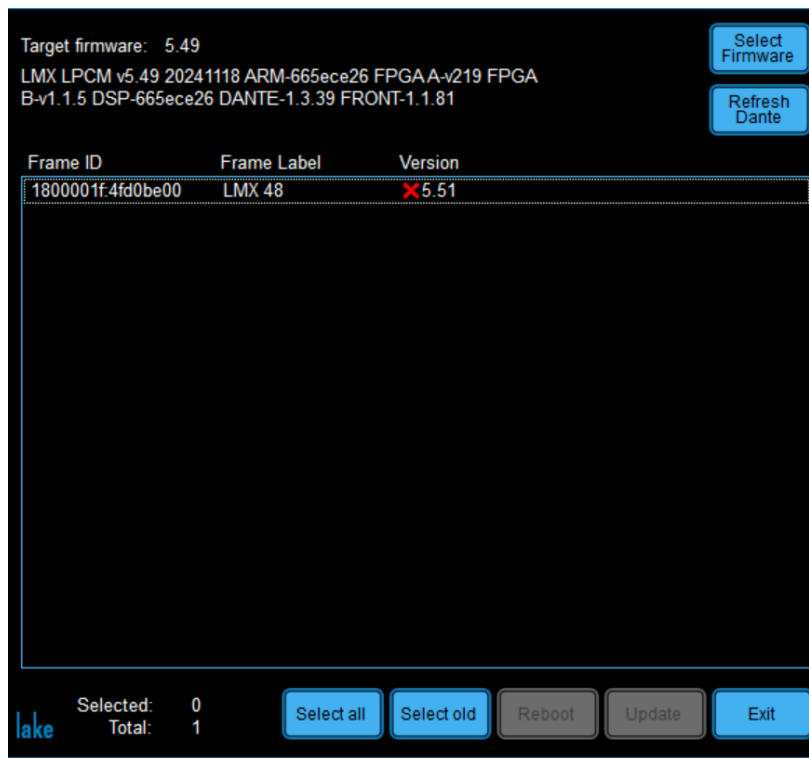
接続されているフレーム（例：LMX48）をリストから選択し、使用しているネットワークアダプターを指定します。



4. 接続されたフレームの確認

次の画面に、接続されているフレームと現在のファームウェアバージョンが表示されます。

Lake Controller とフレームファームウェアが違う場合、バージョンの横に赤い「×」が表示されます。



5. ファームウェアの更新を開始する

対象のフレームを選択し、「Update」ボタンをクリックします。

表示される更新情報をよく確認し、「OK」をクリックすると更新が開始されます。

6. PLM+ / D シリーズの自動電源サイクルについて

Lake Controller バージョン 6.5 以降では、PLM+および D シリーズは自動的に電源が再起動されます。

古い Lake 製品では、フレーム背面の電源ケーブルを抜き差しして手動で電源を再起動する必要があります（スタンバイの ON/OFF では不十分です）。

7. 更新完了の確認

ファームウェア更新の完了は、Lake Updater により通知されます。
フレームが再起動し、最新ファームウェアを読み込むまでには数分かかる場合があります。完了後、フレームの横に緑のチェックマークが表示されれば、更新は成功です。

